

実務家・海外コンサルタント紹介

株式会社エコマックス役員

経歴

1953年山梨県生まれ

1971年東洋大学第三高等学校卒業

1971年早稲田大学入学

(某政治家の私設秘書をしながらの学生生活)

1979年早稲田大学卒業

1980年IHI下請けプラント設計会社(株式会社親和)就職

1980年タイ・アユタヤへコンビナート設計の為出向

1982年株式会社親和退職

1982年単身フィリピンへ

1982年フィリピンにてYS CENTURIANS RESOURCES, INC. 設立(邦人警備・エスコート業)

1985年同社閉鎖

1985年～1988年フィリピンに在住(貧困生活スタート)

1989年ホテル向けウォーター製造販売業AMS,SERVICES,INC.設立

1993年同社譲渡

1993年日本法人をフィリピン工業特区への誘致事業スタート

2005年日本に本拠地を移し現在に至る



実務家・海外コンサルタント紹介
関 義彦



フリピン・ラ・ウニオン州知事との写真

此処からは、私の実体験です、フィリピンで会社を設立し、事業をしていました。
最初は、判らない土地で手探り状態のスタートでした。
初めての会社は、日本との貿易及び日本人観光客及びフィリピン進出を考えている方のエスコートと警備をする会社の立上げでした。
マニラの中心部に事務所を開き会社設立をしました。
フィリピンの法律で、外国人の持ち株は、40%までと決められており、
他の株式をフィリピン国籍の有る人間(4名内弁護士1名)に与えましたが資本金は
全てこちらサイドで用意いたしました。このことが、いずれ大きな問題となりました。
事業は、順調に進み利益もそれなりに上がりまずまずの経営内容でした。
この会社を設立し3年ほど経過したとき、大きな仕事が舞い込んできました。
日本の中堅企業をフィリピンクラークエコノミックゾーン(特別経済特区)への誘致事業でした。
この会社が、前渡し準備金として日本円で2000万円を私の会社(フィリピン)銀行口座に入金してきました。コレが事件の発端でした。
当社の弁護士をはじめ取締役(株主)が反乱を起こし、会社銀行口座を凍結し、1人200万円の配当を要求してきました。
仕事(誘致事業)の費用だと説明しても、目の前の現金を欲しがり裁判までもつれ込みました。
結果、1年6ヶ月争いましたが、1人当たり120万円を支払う羽目になりました。
依頼を受けた会社の誘致は、成功いたしました。が、裁判費用等支払いで1000万円の赤字を出し、
会社を閉鎖する事になりました。

その後、異国の地でどうしても、もう一度ビジネスをと考え、
3年余り貧乏生活をする事となりました。前回、日本から有る程度まとまった金額を持ち事業をスタートさせたわけですが、
失敗したときは、殆ど無一文の状態でした。この時代に、初めてフィリピン人の性格、生活が理解できたときでした。
この3年間で、その後フィリピンのビジネスにおいて多いに役立つこととなりました。
実務研修会では
現地での生の経験則からでないとは解らない貴重な海外進出の経験が得られます
理論理屈ではないキズを経験した実業家のレクチャーです

- ・中国市場のハイリスク チャイナ・リスク
- ・フィリピンの特長
- ・インド・ベトナム・インドネシア
- ・まだ多くのビジネスチャンスがあります

海外コンサルティング及び相談業務をお考えの方

- ・予約制(ご関心のある方事前予約してください、経営塾やクライアントのご相談業務のやり方等
実務レベルのスキルが吸収できます、時間は6時間程度かかります)